

令和7年度 学校評価アンケート 7月実施分集計表

アンケート実施:7月・12月

4・・・とてもよい 3・・・概ねよい 2・・・やや不十分 1・・・全く不十分 0・・・わからない(保護者のみ)

			生徒の評価					教師の評価		保護者の評価				
アンケート項目（保護者用）			R 5 7月	R 5 12月	R 6 7月	R 6 12月	R 7 7月	R 6 12月	R 7 7月	R 5 7月	R 5 12月	R 6 7月	R 6 12月	R 7 7月
授業 学習	生徒	①学習に落ち着いて取り組んでいる。	3.36	3.30	3.40	3.38	3.39	3.27	3.21	2.94	2.89	2.84	2.85	2.88
		②学習の仕方を身に付け、意欲的に授業に参加している。	3.30	3.26	3.29	3.30	3.29	3.23	3.30	2.64	2.52	2.93	2.92	2.95
	学校	③授業の仕方に工夫がみられ、熱意が感じられる。	3.52	3.47	3.48	3.46	3.49	3.46	3.40	3.14	3.10	3.11	3.07	3.14
		④温かいまなざしで生徒に接し、一人一人を大切に授業に努めている。	3.54	3.45	3.44	3.43	3.52	3.33	3.34	3.23	3.16	3.18	3.12	3.19
		⑤仲間と共に学び合う授業を心がけている。	3.62	3.57	3.62	3.60	3.62	3.33	3.30	3.21	3.19	3.18	3.13	3.22
	家庭	⑥生徒は、ご家庭で、自分から学習に向かう姿が見られる。	2.94	2.87	2.98	2.92	2.93	2.90	2.94	2.63	2.57	2.52	2.50	2.52
		⑦お子様の学習に関心をもって、助言や声かけ等に努めていただいている。	3.32	3.30	3.33	3.29	3.34	3.04	3.09	2.84	2.80	2.81	2.81	2.87
生活	生徒	⑧交通ルールなど社会のルールを守り、規律ある生活に努めている。	3.76	3.71	3.77	3.75	3.69	3.04	3.17	3.25	3.19	3.19	3.19	3.20
		⑨いじめや仲間はずしなどがなく、安心して生活している。	3.72	3.63	3.62	3.58	3.61	3.31	3.36	3.30	3.26	3.24	3.23	3.27
	学校	⑩規律ある生活が送れるよう指導している。	3.68	3.58	3.64	3.64	3.68	3.29	3.28	3.26	3.19	3.16	3.14	3.21
		⑪いじめや仲間はずしがない学校づくりに努めている。	3.68	3.59	3.64	3.65	3.66	3.46	3.36	3.15	3.10	3.10	3.08	3.14
		⑫問題が生じた場合に適切な指導が行われている。	3.63	3.53	3.61	3.58	3.65	3.40	3.51	3.19	3.12	3.10	3.10	3.18
	家庭	⑬生徒は、ご家庭で、規律ある生活に努めている。	3.37	3.33	3.42	3.45	3.46	3.10	3.11	2.82	2.78	2.78	2.77	2.83
⑭お子様の規律ある生活や社会性を高めるための助言や声かけ等に努めていただいている。（SNSの使用にあたって、ルールを設けている。）		3.54	3.51	3.57	3.56	3.57	3.13	3.04	2.95	2.87	2.90	2.88	2.97	
学級 環境	学校	⑮生徒がお互いを大切にし合い、認め合う学級づくりが行われている。	3.69	3.61	3.63	3.64	3.66	3.38	3.34	3.22	3.17	3.10	3.07	3.17
		⑯生徒が安心して生活し、学習に向かうことができるよう、学校や教室の環境が整えられている。	3.67	3.58	3.64	3.63	3.64	3.31	3.36	3.22	3.18	3.16	3.12	3.19
学校 全体	学校	⑰学校全体の雰囲気が明るく、活力がある。	3.63	3.63	3.68	3.63	3.68	3.31	3.21	3.23	3.19	3.17	3.15	3.19
		⑱学級通信や学年通信、学校だよりやホームページ等を使って、学校の願いや生徒の様子を家庭に伝えるように努めている。	3.65	3.53	3.53	3.57	3.61	3.31	3.30	3.29	3.22	3.22	3.26	3.28
		⑲家庭や地域の理解を得ながら、家庭や地域と協力して教育活動を行っている。	3.50	3.41	3.45	3.50	3.51	3.15	3.15	3.16	3.14	3.11	3.13	3.17
		⑳防災・交通安全・感染予防への教育活動を通して「自分の命は自分で守る」力がつくように努めている。	3.67	3.60	3.66	3.66	3.70	3.15	3.21	3.18	3.15	3.13	3.13	3.18
		㉑「穂中 共生宣言」の目指す姿を具現するための教育活動を行っている。	3.56	3.51	3.59	3.63	3.64	3.31	3.26	3.11	3.11	3.13	3.14	3.20
平 均			3.54	3.47	3.52	3.52	3.54	3.25	3.25	3.09	3.04	3.05	3.04	3.09
評価:0.1ポイント以上アップは青網掛、ダウンは赤網掛（生徒・教職員・保護者）								回収率		77%	60%	74%	85%	89%

令和7年度 第1回学校評価アンケート 保護者様からのご意見・ご要望について

R7.9.5

第1回の学校評価アンケートを、保護者様と教師については「すぐー」で、生徒についてはFormsで実施しましたが、保護者アンケートの回答率が昨年度7月（74%）と比較しますと、15%アップして、89%となりました。ご協力、ありがとうございました。

保護者様と生徒の評価については、昨年12月と比較して、21項目中、保護者様は20項目、生徒は19項目でポイントが上がり、学校の教育にご理解とご協力をいただけていることが分かりました。ありがとうございます。

また、記述欄には、保護者様からの温かいお言葉をいただいたり、ご意見・ご要望等をいただいたりしていますので、以下のようにまとめさせていただきました。

***校内教育支援センター（わかたけルーム）に、多くの先生方が関わっていただい、安心して登校できています。**

⇒今年度より、校内教育支援センターの名称を「第3相談室」から「わかたけルーム」に変更し、畳のスペースを設けることで、生徒が心や体を十分に休めることができるようにしました。また、わかたけルーム担当教員の他に、担任や学年所属の教員も積極的に関わっています。学習への意欲を高めている生徒も見られ、夏休み中にも自主的に登校し、わかたけルームで学習する姿がありました。今後も、個別最適な学びや活動ができるよう努めてまいります。

***保護者との二者懇談の時間を設けてほしい。**

⇒定期的に三者懇談を実施していますが、保護者様が必要であれば、担任や学年主任との二者懇談を実施することも可能です。担任等にご連絡ください。

***交通安全や交通マナーの指導をしてほしい。**

⇒本校では、教員による下校指導を月に何度か行い、定期的に交通安全担当教員が、全校放送で注意喚起を行っています。生徒指導主事も、地域や保護者の皆様からのご指摘を受け、交通安全に関わる話を継続的に、そしてタイムリーに生徒に行っております。また、生徒が話の内容を自分事として受け止め、改善行動につながるができるよう、危険な行動や場所を写真で示すなど工夫して話をしています。ご家庭でも、同様に継続的なお声かけをよろしくお願いします。地域で気になる姿があれば、直接注意をしたり、学校へ連絡したりしてください。

***部活動の地域移行における子どもたちを支えていただきたい。**

⇒瑞穂市では、令和7年度末までに、休日・祝日の部活動の地域移行をめざしております。教育委員会の生涯学習課より、保護者の皆様にも移行に関わる説明をさせていただいています。平日の部活動においては、引き続き学校の顧問が指導してまいりますので、地域指導者とも連携を図りながら、子どもたちの心身の健康の保持増進に努めてまいります。地域クラブについて質問や相談があれば、生涯学習課（327-2105）へご連絡ください。

***校則にスニーカーの色についての記載はあるが、メーカーのロゴの色は何色でもよいのか。**

⇒ホームページの「学校の約束」には、「メーカーのロゴなどはワンポイント程度にし、キャラクターが入るなど、華美な柄の靴ははきません。」と記載しています。ワンポイントのロゴについては、何色でも構いません。

***様々な災害や災害が発生する場面を想定した避難訓練を実施してほしい。**

⇒今年度は、「地震」「地震による火災発生」「水害」「不審者侵入」を想定した命を守る訓練を実施する予定となっております。いずれの場合も、授業中を想定した訓練となっておりますので、今後は、休み時間、登下校など、災害が発生する場面を多様に想定した命を守る訓練や引き渡し訓練が実施できるよう、検討してまいります。

***グループ（小集団）学習が増えたが、理解が不十分な生徒への支援も大切にしてほしい。**

⇒文科省の方針に則り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることで、生徒一人一人に自ら問題を見つけ解決する力を身に付けたいと考えております。こうした学びを実現する上で大切になるのが、一人一人の状況に応じた支援となります。支援の在り方については、今後一層研究を推進してまいります。

